

1 「といてみたい」「考えてみたい」～意欲を高める学習課題の提示

<テーマ> 学習過程の段階に「ときたい」を取り入れた取組

(大崎市立古川第五小学校)

1 「算数ステップアップ5」を意識しながら授業に取り組むために、研究授業の学習指導案の学習過程の段階に、「ときたい」「つたえたい」「いかしたい」を取り入れた。「ときたい」は「つかむ・見通す」段階ととらえ、児童の意欲を高めるような学習課題や問題の提示をするように努めた。

(1) 第3学年2組の学習過程の例 (TT)

段 階	主な学習内容 ○発問 ◇指示 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 【手立て】
と き た い	<p>1 本時の問題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2本のジュースを一つに合わせてミックスジュースをつくりたいと思います。(T1) ・一つに合わせるということは、たし算だ。 ・どのくらい入っているのかな。 ○一つのびんに0.4L、もう一つのびんに0.7L入っています。 ・1Lより多くなるぞ。 ・1.1Lだな。 <p>2 課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○式はどうなりますか。 ・$0.4+0.7$ ○今までのたし算と違うところはどこですか。 ・小数 ・小数点がある。 ○今日のめあては何でしょうか。 ・今日は小数のたし算だ。 ・小数のたし算のしかたを考えよう。 小数のたし算のしかたを考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活場面に即した問題を提示することで、解きたい気持ちを高めさせる。 ・最初から全ての条件を提示せず、児童に必要な情報を考えさせることで、問題解決に向けて意欲付けを図る。(T2) ・課題解決の手掛かりとなったり、本時のねらいにつながったりする児童のつぶやきは板書に残し、振り返りに生かすようにする。(T1) ・今までのたし算と違うところを明らかにすることで、小数や小数点の扱いをどうするかを意識させるようにする。 ・児童の言葉から課題を決めることで、本時の学習への意欲を高める。(T1)

(2) 実践後の成果と課題

- ・ 導入の「問題」への誘い掛けに児童が反応し、「ときたい」気持ちが高まった。